



どんな街並みにも美しく映える、ロングカットデザイン。



■ カラーバリエーション

※末尾のWは東日本地区対応です。



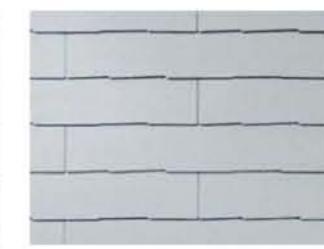
ココナッツ・ブラウン
CC221W



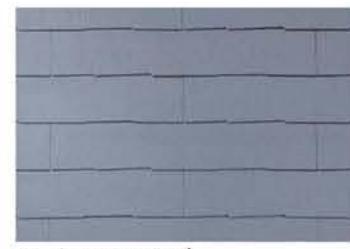
ウォールナット・ブラウン
CC241W



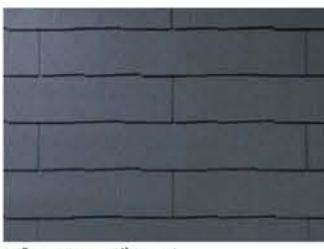
ネオ・ブラック
CC262W



シルバー・ホワイト
CC225PW



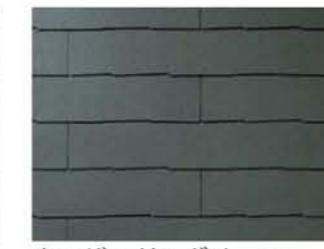
アイス・シルバー
CC235PW



パール・グレイ
CC275PW



アイリッシュ・グリーン
CC247W



ウェザード・グリーン
CC277W

地震に強いのは“軽い屋根”です。

●カラーベストの重さは、粘土瓦の約1/3です。

■ 屋根材の重量比較<屋根面積:100m²(約30坪)>
和瓦の屋根は、KMEW屋根材よりも乗用車3台分の重量が、建物に余分にかかっていることになります。
※乗用車の重量は1台約1tで計算しています。

●カラーベスト・シリーズ 約2040kg(約68kg/坪)

●約5550kg (約185kg/坪)

■ 地震の強い揺れには、「軽い屋根」が有効です。
「耐震構造」「免震構造」の建物には、屋根を軽くすることが有効なアプローチです。

■ 地震時に建物にかかる負荷(イメージ)

重い屋根

軽い屋根
(カラーベスト)

建物の揺れは地面の揺れに比べて2倍程度に増幅

●カラーベストは、坪当たり約68kgの軽量さ。

■ 屋根が重い・軽いことによる違いは？

重い屋根

- ・建物の重量が重くなる
- ・建物の重心が高くなる
- ⇒揺れは増大する

軽い屋根

- ・建物の重量は軽くなる
- ・建物の重心が低くなる
- ⇒揺れを大幅に抑える

台風にも“安心”的屋根材です。

●強風にも飛ばない、大雨でも濡れない、耐風・防水設計です。

■ 独自の施工方法

屋根材一枚一枚を4本の釘でしっかりと固定する施工法により、強風による屋根材の飛散りやズレを防止。

また、大雨でも屋根材の重なり部分によって雨水の浸水を防ぎ、残りの雨水の回り込みも下地の防水シートによって防ぎます。

■ 防水試験

<建設省 総合技術プロジェクト試験結果>

散水量 (l/m ² ·min)	風速 (m/s)	漏水量(cc/m ² ·min)		勾配 10寸 粘土瓦 カラーベスト 3.7	
		カラーベスト	粘土瓦		
2.5	15	0.1	24	0	227
	30	5.5	392	1.6	11
5	15	0	24	—	62
	20	0.6	241	0	392
	30	12	946	1.1	0
	0	—	0	—	19
7.5	15	0.3	32	0	640
	35	21	1514	4.7	

※カラーベスト=3寸、粘土瓦=4寸

一枚一枚を4本の釘でしっかりと固定。

一重部分がほとんどない、大きな重なりのため
ケタ違いの防水性を確保しています。

粘土瓦
散水量・風速に比例して
漏水量が増加

カラーベスト
散水量・風速が増えて
屋根材裏面への漏水が少ない

※写真は印刷色につき、実物と色合いが異なります。 色合わせにはサンプルをご活用下さい。